

平成26年度 事業報告(案)

全体事項

今や長寿世界一を達成したわが国は、超高齢化社会の最先端にあり、我々は、自らの手で未来を切り開いてゆくべき責任を担っていると思います。

特に団塊の世代が70歳を迎える2025年問題を考えると高齢化社会への対応はこれからが正念場であると言えます。今後においても介護に対するニーズが減ることはなく、科学的な介護、合理的な経営など現場の創意工夫が強く求められています。

当施設においても、このようなニーズに適正に対応するため、どこが良く、どこが悪いのか点検しつつ、その欠点を日々修正していく努力をしなければならないとか考えている次第であります。

B 共通事項

(1) 社会福祉法人に求められる地域交流を一層促進することと、あわせて地域貢献事業の検討をする。

地域交流事業の取組状況については、10月11日に橋本地区第二寿会(老人クラブ)に対して、介護のあらましについて説明会をし、次に、橋本小学校区福祉委員会の皆様を中心となり、高齢者の閉じこもり防止を目的に開催されております各「ふれあいサロン」へ訪問させていただき、参加者と交流を深め、日頃困っていること等を専門職として支援できるように努めています。また、介護を必要とされる方の身体状況に合った食事が在宅でも提供できるように介護食料理教室を11月20日と3月28日に開催いたしました。又、11月8日に開催しました施設見学会には、昨年の参加者を大きく上回る32名の参加がありました。

その他、地元で開催される自治会行事や学校関係行事にも参加し、地域で求められているニーズの把握や地域との関係作りに取り組んでいます。

(2) 施設・設備等の中・長期管理計画の作成をする。

空調設備を中心に諸設備調査を複数の専門業者に依頼しました。その結果、空調については長期的には電気式エアコン(個別方式)に変える方針としますが、現在のGHP(室外機)及び室内機は、使用できる限り使用していきます。26年を経過して劣化が心配される配管については、27年度に調査を行ないます。その他の施設設備についても引き続き検討していきます。

(3) 人事考課制度の定着と適切な処遇を図る。

平成26年度より本格実施しました人事考課制度については、上期に平成25年度下期を対象とした、最終の人事考課を試行実施しました。

平成26年度上期の人事考課につきましては、9月1日から評価シートの作成に取り掛かり、11月18、20日に評価委員会を開催し、評価を決定しました。

(4) コミュニケーション能力を向上させるための研修を実施するとともに、人材育成及びキャリアパス制度を構築するために、階層別研修計画の作成に取り組む。

前年度より研修会等を開催し検討しておりました、当法人の新人職員 育成計画・階層別人材育成計画の取りまとめを行いました。また、人材育成担当者を各事業所で選任し、新人の指導を行い、毎月会議を開催し、育成計画の見直しや進捗状況等を確認することで、情報の共有を図り、職員の定着に取り組みました。

職員のスキルアップを目的に開催を計画している施設内研修につきましては、職員の退職等もあり、人材育成を優先することで、やむなく中止しましたが、次年度は計画的に実施する予定です。

3月に採用した新規採用職員については、約1ヶ月間の計画的な研修を行いました。

(5) 職員の服務規律と5Sの徹底に取り組む。

職員の服務規律については、就業規則の服務心得に基づき、職員としてあるべき言葉づかいや態度を身に着け実行するために、サービス向上委員会を立ち上げました。入居者、利用者および家族様、そして、地域の方々から信頼される施設となるよう、サービスの向上を目指し、以下の取り組みを行いました。

- ・ゆっくり丁寧に話し、笑顔で接する。
- ・言葉づかいの改善、また、模範となる職員の行動や態度について各職員から書面にて意見を聞き取りまとめました。

今後はその内容を職員間で共有し、実行できるように取り組みを進めていきます。

5Sの徹底については、職員の美化意識の向上もあり、各事業所において自主的に

5Sに取り組んだ結果、当館全体として環境整備が進みました。また、1階玄関・廊下及び2階食堂の改装により内装もきれいになりました。引き続き職員の環境美化意識の向上を図り、5Sに取り組めます。

(6) 事業の進捗状況や方針の徹底を図るために、月次ヒアリングの実施をする。

適正な事業運営が行えるように、各事業所の事業内容・稼働率等の進捗状況を取りまとめ報告書を提出することとしました。また、報告書の内容の中で改善が必要とされることについては、管理職による経営会議を毎月2回開催することで諸問題等を迅速に対応していけるように取り組みました。

(7) 安定した収入の確保と一層の経費節減に取り組む。

安定した収入の確保については、長期入院者を減らし稼働率を維持するため、日々変化する入居者の体調等を注視し、各専門職と連携を図り、早期発見・早期治療に努めました。また、施設内での感染症予防対策の徹底を図り、感染症の拡大を防止し、2次感染による入院者の減少に努めました。

居宅介護サービスについては、他事業所や外部の関係機関と連携し、新規利用者の確保に努め、特養空きベッド等を利用し緊急時の受入を柔軟に行い、サービスを利用することに抵抗がある方等については、お試し利用をしていただき、サービスをより知っていただくことで定期利用へつなげる取り組みを積極的に取り組みました。

経費につきましては、26年4月に消費税率が8%にアップしたため、購入価格や契約の見直しに取り組んでおりますが、業者からの値上げ要請も多く、ある程度の経費増加は避けられない状況となりました。特に水道光熱費の値上がりが激しくなっておりますので、引き続き全般的な経費削減に努力します。

(8) 情報公開を積極的に取り組む。

社会福祉法人に対しては過度な内部留保を保有しているのではないか、制度にある事業しかやっていないのではないか、といった厳しい指摘が相次いでいます。当法人におきましても、社会福祉法人として前向きに取り組んで、事業計画及び事業報告・決算状況等につきましては、季刊誌や誰もが閲覧できる環境を整えてきました。また、より積極的に情報開示を進めていくために、ホームページでも閲覧できる環境を整えました。

(9) 災害対策に取り組むとともに、危機管理能力の向上に努める。

災害対策の取り組みについては、災害等が発生した場合に入居者・利用者の安全確保が重要となります。そのため、各事業所で対応策等を検討するとともに、法人全体の避難誘導訓練を2回（昼間・夜間想定）実施し、緊急時の非難誘導についてはできる限り実践に近い形で訓練を行いました。

災害等が発生した場合の対策として、非常食の備蓄の見直しを行い、入居者・利用者・介護にあたる職員用も含めて3日分を備蓄する体制を整えました。

備蓄品の形態も入居者のADLに合わせ、普通食～超刻み食用とペースト食用の2つの形態を整え、災害によるストレスで食事が食べられなくなった場合も想定し、水分をゼリー飲料としました。

危機管理能力の向上については、入居者や利用者のケガ・事故等については、再発防止策を早急に事業所内で検討し、職員に周知できるよう努めました。また、委員会等で入居者・利用者のケガ・事故の検討を行い、発生場所及び時間の統計を基に、見守りを強化するための職員配置や業務変更等を行いました。

(10) 27年度の制度改正に対処するための取り組みを検討する。

平成27年度の介護保険制度の改正では、全体でマイナス2.27%となり、ほぼ全種別で大幅に減算されることとなりました。そのため職員全員で協力して収入を確保するために、稼働率の維持・向上に取り組むことと合わせて、算定できる加算については、職員体制の見直しや業務改善等を実施し、基準を満たせるように取り組みました。

今後も算定できる可能性がある加算については、継続して検討していきます。

役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成26年5月22日	12名 (監事2名)	① 平成25年度 事業報告(案)について ② 平成25年度 収支決算(案)について ③ 給与・退職金規程の一部改正(案)について ④ 次期評議員の選任について
平成26年6月1日	13名 (監事1名)	① 理事の選任について ② 監事の選任について
平成26年11月21日	14名 (監事2名)	① 監事の選任について ② 給与退職金規程の一部改正(案)について ③ 継続雇用職員給与規程の一部改正(案)について ④ 嘱託および臨時職員就業規則の一部改正(案)について ⑤ 経理規程の一部改正(案)について
平成27年3月25日	14名 (監事2名)	① 平成26年度収支予算補正(案)について ② 平成27年度事業計画(案)について ③ 平成27年度収支予算(案)について ④ 平成27年度移行時特別積立金取崩(案)について ⑤ 京都社会福祉事業企業年金基金にかかる取扱い規程の制定について ⑥ 給与・退職金規程の一部改正(案)について ⑦ 嘱託及び臨時職員就業規則の一部改正(案)について ⑧ 運営規程の一部変更(案)について

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成26年5月22日	6名 (監事2名)	① 平成25年度 事業報告(案)について ② 平成25年度 収支決算(案)について ③ 給与・退職金規程の一部改正(案)について ④ 次期評議員の選任について ⑤ 平成26年度の昇給率及び賞与支給月数について

平成 26 年 6 月 1 日	6 名	① 理事長の選任について ② 施設長の選任について ③ 理事長職務代理者の指名について
平成 26 年 11 月 21 日	6 名 (監事 2 名)	① 給与退職金規程の一部改正(案)について ② 継続雇用職員給与規程の一部改正(案)について ③ 嘱託および臨時職員就業規則の一部改正(案)について ④ 経理規程の一部改正(案)について
平成 26 年 3 月 20 日	6 名 (監事 2 名)	① 平成 26 年度収支予算補正(案)について ② 平成 27 年度事業計画(案)について ③ 平成 27 年度収支予算(案)について ④ 平成 27 年度移行時特別積立金取崩(案)について ⑤ 京都社会福祉事業企業年金基金にかかる取扱い規程の制定について ⑥ 給与・退職金規程の一部改正(案)について ⑦ 嘱託及び臨時職員就業規則の一部改正(案)について ⑧ 運営規程の一部変更(案)について

③ 監事監査の実施状況

平成 26 年 5 月 12 日、監事 1 名による監査を実施していただきました。

その結果、事業報告書等は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、不正の点はないと認めていただきました。

その他の状況

① 衛生教育について

年 月 日	参加人数	内容
平成 26 年 10 月 15 日	31 名	脳梗塞について
平成 27 年 2 月 18 日	34 名	逆流性食道炎について

② 施設内研修について

年 月 日	参加人数	内容
平成 26 年 12 月 4 日	26 名	苦情解決研修会

③ 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 26 年 11 月 6 日～11 月 20 日	職員インフルエンザ予防接種	55 名
平成 26 年 10 月 22 日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	41 名
平成 27 年 3 月 9 日～3 月 14 日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	29 名
平成 27 年 3 月 13 日	腰痛検診	36 名

④ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
平成 26 年 11 月 11 日	午後 3 時～	昼間訓練（消防署立会い）
平成 27 年 3 月 30 日	午後 3 時～	夜間訓練（想定で実施）

⑤ 研修（実習）受入状況

平成 26 年度の介護福祉士実習として、京都八幡高校介護福祉科（1～3 年生の計 10 名）、京都医療福祉専門学校（3 名）、京都聖母女学院短期大学生活科学科（4 名）、職場体験学習として男山第 2 中学校（2 名）の実習を受け入れました。

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

（1） 特別養護老人ホーム

入居者のサービスの向上を第一に考え、親切・丁寧を常に心がけ、よりよい介護サービスを提供できるよう取り組みました。

介護サービスについては、入居者の皆様のペースでゆっくりと入浴していただくために業務改善に取り組み、入居者一人一人に対し、きめ細かい、また、個々の ADL に沿っ

たゆとりある介護サービスの提供に努めました。

レクリエーションについては、当年度に計画していた行事や習字などのクラブ活動、また、日々の生活の中で職員による頭や身体を使ったレクリエーションを実施しました。

その他、おやつ作りやたこ焼きパーティーの開催、初めての取り組みとして例年開催している夏祭りを夕食後に開催する等、日々生活に楽しみを持っていただけるように取り組みました。

健康管理については、日々変化する入居者の心身の状況を把握し、早期発見・早期治療を心がけ、嘱託医や介護・看護職員、専門職と連携を図り、入居者の健康維持に努めました。また、看取り介護の取り組みや必要に応じ病院受診など入居者等の意向に沿ったサービスを提供にも努めました。

口腔ケアについては、歯科医師及び歯科衛生士と連携をとり、また職員が日々口腔ケアを実施し、誤嚥性肺炎等の予防することで、入院者の減少に努めました。

特養入居者等の状況

① 旧措置者と介護保険入居者の割合

年 月 日 (現在)	旧措置者	介護保険施行後入所者	介護保険施行後入居者率
平成 26 年 3 月 31 日	1 人	6 9 人	9 8 %
平成 27 年 3 月 31 日	1 人	6 9 人	9 8 %

② 退所状況

(人)

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
平成 26 年 3 月 31 日	1 2	5	1 7
平成 27 年 3 月 31 日	1 3	4	1 7

③ 要介護度の状況

(人)

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
平成 26 年 3 月 31 日	0	9	1 6	2 0	2 5	3. 8 7
平成 27 年 3 月 31 日	1	1 4	1 2	1 7	2 6	3. 7 6

④ 利用実績 (人)

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
25	24,157	66.1	稼働率 94.4%
26	24,479	67.1	稼働率 95.9%

⑤ 入居者検診状況 (人)

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 26 年 10 月 7 日	胸部レントゲン撮影 在館 68 名 (入院先撮影者等 2 名)	66 名
平成 26 年 11 月 11 日～ 平成 26 年 11 月 25 日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入所者については、入院 先の病院で接種されています。	62 名

⑥ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8 月 6 日	夏祭り	12 月 21 日	年忘れ会
8 月 13 日	花火大会	12 月 27 日	もちつき大会
9 月 21 日	敬老祝賀会		

(2) (介護予防) 短期入所生活介護事業所

個別ケアに向けての取り組みを心がけ、入浴介助については、特養と同様、利用者個々の状況に合わせ、ゆとりある入浴サービスを提供するために、マンツーマンでの入浴介助の実施に取り組みました。

利用者に少しでも満足していただくために、レクリエーションの充実及び利用者のペースに沿ったサービスを提供できるよう、日常の業務の改善に取り組みました。

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、その他関係機関と連携を図り、特養の空きベッドを有効活用する等、緊急時の受入や介護者の負担軽減が図れるよう柔軟に対応しました。

(3) 身体障害者短期入所生活介護事業所

身体障害福祉サービス短期入所支給決定者の2名の方が介護者の負担軽減を目的に毎月定期的に利用されました。今後も短期入所サービスの空きベッドを利用しながら、積極的に受け入れしていきます。

(7) ショートステイ年間利用稼働率（短期入所・介護予防短期入所・身障短期入所）

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
25年度	4,835人	402.9人	13.24人	94.5%
26年度	4,472人	372.7人	12.25人	87.5%

調 理 室

入居者・利用者の皆様に安心して食事を食べていただくために「大量調理衛生マニュアル」に基づき、食品の管理及び厨房内の清掃など食中毒を発生させないように衛生管理を徹底しました。

個々のレベルにあった食事を提供するために、4つの食事形態（普通・刻み・超刻み・ペースト）に加え、新たな形態としてソフト食を導入しました。

食事を楽しんでいただくための取り組みとして、4月はお花見弁当、7月は納涼弁当、11月は紅葉弁当、2月は寒中弁当を松花堂弁当形式で提供しました。

その他、地域との関わりとしては「はつらつ健康教室」において、夏バテ予防・風邪ひき予防についての講義と演習及び食生活の改善や栄養相談を2回実施しました。

八幡市民で介護食に興味がある方を対象に介護食料理教室を2回開催しました。これらの取組については参加者に大変好評でしたので、次年度も継続して取り組んでいきます。

(予防) 通所介護事業所

26年度は歩行訓練の強化及び口腔ケアの維持を重点に取り組みました。

歩行訓練については、室内での平行棒、階段昇降、屋外での歩行と利用者の歩行レベルにあわせた内容で行い、機能訓練を兼ねて近隣公園へ出かける機会を増やしました。

口腔ケアについては、歯科衛生士の資格を持つ職員の指導を受け、重度の利用者の歯磨き及び昼食前のDVDによる口腔体操とうがいを継続しました。また、レクリエーションの充実については、小集団レクとして小物作り、壁画作成等は、午前中及び帰宅前の時間を有効に使うよう努めました。

新規利用者の獲得に向けて、事業所の取組や活動を広報するための無料体験利用の実施及びデイ通信の発行を継続しました。

認知症ケアについては、次年度の取組に向けて積極的に研修へ参加し、知識の習得に努めました。

利用状況 (人)

年 度	要介護 1~5	要支援 1, 2	一日平均	備 考
25年度	5,195	475	18.4	
26年度	4,936	405	17.3	

外出行事の状況

実 施 日	目 的	行 き 先	参加人数
4月1日~7日	花見外出(桜)	桜公園等	40人
6月10日~18日	花見外出(菖蒲)	枚方山田池公園	40人
11月17日~21日	紅葉外出	一休寺	35人
3月9日~13日	花見外出(梅)	枚方山田池公園	30人

在宅介護支援センター事業報告

地域の相談窓口として、利用者、家族及び関係機関からの相談に積極的に関わりました。民生児童委員からの相談については、関係機関と連携し、適切なサービスへつなぐことができました。

また、新たな活動として介護保険サービスや施設概要等の説明会の開催、学区福祉委員主催の認知症に関する研修会への講師派遣および地域のふれあいサロンに積極的に関わるよう努めました。

地域支援事業のはつらつ健康教室では、理学療法士や管理栄養士など他職種と連携を取り事業を実施しました。

八幡市からの委託業務の実施状況は下記の通りです

(1) 相談業務実施状況 (人)

年度	年 間	月平均	備考
25年度	83	6.9	
26年度	69	5.75	

(2) 高齢者の実態把握等実施状況 (件)

年度	実態把握件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
25年度	22	6	12
26年度	18	9	20

(3) 配食サービスの実施状況

年度	人数	延べ食数
25年度	193人	3,148食
26年度	201人	3,258食

(4) 介護予防事業開催状況

年度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
25年度	24回	319人	13.2人
26年度	24回	323人	13.4人

居宅介護支援事業所事業報告

利用者及び家族からの依頼又は関係機関からの紹介により新規の利用者を受け入れサービス提供事業所と連携を図り、適切にサービス調整を行いました。

専門研修及び八幡市老人福祉施設連絡協議会の開催する研修会に積極的に参加し情報収集や自己研鑽に努めました。利用者、家族からの苦情等については、意見を十分に聴取し、サービス事業所と連絡を取り合い適切な対応に努めました。

ケアプラン作成、代行申請状況

年度	ケアプラン		代行申請		備 考
	件数	月平均	件数	月平均	
25年度	717	59.7	42	3.5	
26年度	697	58.0	36	3.0	更新. 区分変更. 新規申請

8 評議員・理事・監事等名簿

(平成27年3月31日現在)

役職名		氏名	就任年月日	任期
理事長	評議員・理事	小堀 重男	平成26年6月1日	平成28年5月31日
職務代理者	評議員・理事	田中 貞雄	〃	〃
職務代理者	評議員・理事	松崎 祥三	〃	〃
	評議員・理事	中西 久子	〃	〃
	評議員・理事	本郷 俊明	〃	〃
	評議員・理事	道本 俊規	〃	〃
施設長	評議員・理事	遠州 伸高	〃	〃
	評議員	田部 晴雄	〃	〃
	評議員	中川 晶勝	〃	〃
	評議員	寺村 紀子	〃	〃
	評議員	徳田 竹司	〃	〃
	評議員	柴田 耕次	〃	〃
	評議員	波田 容子	〃	〃
	評議員	藤作 実	〃	〃
	評議員	本田 みち代	〃	〃
	監事	北村 章	〃	〃
	監事	大高 俊生	平成26年11月21日	平成28年5月31日

苦情解決第三者委員	北村 郁子	
-----------	-------	--